



知っているようで
知らない

樹木のこと

見分けるポイント① 樹形を見る！

～ケヤキ～

美しい「ほうき形」の樹形が特徴的です。

夏は緑陰として活躍する樹木、ヒートアイランド現象の緩和などの役割を担っていますね。

そんな身近な存在ですが、樹木の名前を皆さん知っていますか？

公園へGO!! ボランティア活動中

公園愛護会

通信 69号

2019.7月発行

公園愛護会通信は、公園愛護会活動がより活発に行われるように、活動に関する情報提供や、活動の事例紹介等を行うための情報誌です。

実は知らなかった？

樹木の名前

公園で見かける「あの」樹木
身近なものから見分けてみよう！



公園の財産として、木を大切にしています。

見分けるポイント② 樹皮を見る！

～サクラ～

独特の皮目が目立ちますね。



見分けるポイント③

葉を見る！

～ユリノキ～

不思議な形の葉。

葉柄（柄の部分）が長いです。



◆樹木に親しんでみよう◆

横浜市では愛護会のみなさん向けに、焼いた杉板で作る樹名板づくりの技術支援を行っています。樹木の名前や特徴も学べます。公園の樹木に樹名板をつけてみませんか？

詳しい支援内容については、各土木事務所及び公園緑地事務所にご確認ください。

足元に注目してみよう！

～グランドカバープランツで手間をかけない花壇づくり～



フッキソウ

ギボウシ



リシマキア・オーレア (山下公園)

花壇の際までカバーされると豪華な印象に。
明るい葉の色が他の植物とも調和しています。

真夏は植物の植え替え、植え付けには適しません。秋からの花壇作業が軽減できるようグランドカバープランツについて紹介します。

夏も涼しげ！

グランドカバープランツとは？

「地面をおおう」植物たちのこと。緑化等に使われます。身近なものでは「芝生」もそうです。

花壇にぴったりな特徴はこれ！

①見ばえが良くなる

裸地が隠れること、ボリュームがでること、花壇が豪華に。
常緑のものが多く、年間を通して緑を維持できます。

②土の流失や雑草防止の効果も

よく広がるものが多いので効果を期待できます。



ヒューケラ (山下公園)

日陰でも育ちます。色の種類が多く、単体で見ると渋い色のものも、他の植物とあわせるとオシャレに。

プラスワンステップ！ 引き立てる！

中には様々な色合いの葉が持ち味の植物もあります。

うまく活用すると、他の植物を引き立てたり、立体感を演出したりできます。

Q&A

◆思った以上に増えたら…？

時には旺盛な生育力により計画以上に広がることも。切り戻しや株分けをして調整しましょう。

◆見守ってあげよう

丈夫と言っても、根付いて広がるまでは見守ってあげましょう。雑草と間違えて抜かれてしまうこともあります。名札をつけると分かりやすいです。



アジュガ

(三枚町第一公園)

青い涼しげな花が魅力的。丈は低く、地面をはって広がり、半日陰でも育ちます。

環境に合うものや、好きな色、葉、形のものを探してみよう！

手間とお金をかけずに花いっぱい！

南区 別所第五公園

別所第五公園は住宅地の中の小さな街区公園ですが、公園を一周ぐるっと囲む花いっぱいの花壇が魅力的です。

極力手間がかからない花壇作りをされているそうですが、一体どのようにして花壇を管理されているのでしょうか？



お話をお聞きした左から
萩原さん、井出さん、
内田さん、会長の三浦さん、
齋藤さん
背景のゼラニウムは挿し木で
増やしたものだそう。



どんな植物を植えていますか？

生育旺盛な植物、こぼれ種で増える植物を選んで取り入れています。シレネ、カモミール、キバナコスモスなど植えています。

大きな花壇を花いっぱいにするのに苦労はなかったですか？

種で増えた花をバランスよく移植して広げています。間引いたものも捨てずに植え替えています。

シレネの種を採取したり、落ちたヒマワリの種を拾ったりして使っています。

種から苗を自分で育てて植えることもあります。

よく増える植物、種で増えて来年も咲く植物を植え移植することで、手間が少ない、ローコストな花壇をつくることができるんですね。種を拾ってそこから育てるのはひと手間必要ですが、おもしろい発見や特有の達成感が得られるかもしれません。



花の手入れを中心に
なっている内田さん

花を植え、きれいにしている「気持ちのいい公園」はいたずらされにくくなることも。愛護会のみなさんからも「花があると癒される」「街に緑があると和む」との声が上がりました。

発見！ここにも、グランドカバープランツ

ツルニチニチソウ

丈夫でよく育ち、手間もあまりかからないのでおすすめのこと。常緑の植物です。



コーディネーター便り

公園愛護会活動の活動のお手伝いをする、各土木事務所の専門の相談員です。新任の紹介をします。

港南区 関コーディネーター

こんにちは。今春から港南区のコーディネーターを担当させていただきます。

我が家の子供たちは春夏秋冬公園を走り回り、雨の日も（ログハウスへGO!）公園で遊ぶことが大好きでした。どんよりとした冬空の下、きれいに植えられていた葉ボタンの花壇を見て、何とも言えないほっとした気持ちになったことを今でも思い出します。

公園には、いつも皆様が明るくお元気に活動されるお姿がありました。とてもお世話になりました。今度は私も皆様と一緒に愛護会活動ができることを嬉しく思っています。少しでも地域の皆様、公園、街づくりのお役に立てるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



夏は暑さとハチ等に注意

愛護会活動を、楽しく安全に
続けていただくために



毛虫

毛虫は主に夏に発生します。ほとんどは人間に害のない毛虫ですが、中には要注意の毛虫もいます。

〇人に被害を及ぼす毛虫

チャドクガ（幼虫）・・・春から秋にかけて年2～3回発生
〔発生しやすい樹木〕ツバキ、サザンカ、ヒメシヤラ、



- チャノキなどのツバキ科植物
- 幼虫が小さいうちは、葉の裏側などに整然と並んでいます。
- 淡黄褐色で、全身が毒針毛で被われています。
- 触れるとひどくかぶれます。卵や抜け殻、成虫などにも毒針毛が付いて、これらにも触れるとかぶれます。

熱中症

熱中症は、曇った日でも多湿の場合は体温の熱放射が来ず熱中症になってしまうことがあります。

こまめな水分補給を行い、涼しい時間の活動、涼しい場所での休憩、通気性の良い服の着用、暑い日や体調の悪い時は作業をしないなどを心がけてください。



ハチ

ハチは、6月頃から巣を作り始め、10月頃まで行動します。9、10月はハチの攻撃性が高まり、刺される事故も多くなります。また、一見わかりにくい、植え込みの中や木の枝の茂みの陰などに巣がある場合が多いので、ハチが出入りしていないかよく見てから、活動を始めるようにしてください。

※公園内でハチの巣を見つけた場合は、所管の土木事務所または公園緑地事務所へ御連絡ください。



イラガ（幼虫）

〔発生しやすい樹木〕サクラ、ケヤキ、ウメ、カエデなど



- 発生初期は葉の裏側を削るように食べるため、葉が透かし状になります。
- 全身がトゲで被われています。
- 地面に黒いフンが落ちています。
- 刺されると電気が走ったような強い痛みを感じます。

公園管理・公園愛護会通信の配布部数に関するお問合せは、各土木事務所・公園緑地事務所にお願いします。

発行／横浜市環境創造局公園緑地維持課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1

※バックナンバーは横浜市公園愛護会のホームページから

電話:045-671-2650 FAX:045-664-2588 Eメールアドレス:ks-aigokai@city.yokohama.jp 発行月:令和元(2019)年7月